

PCB 処理だより

第49回北九州市PCB処理監視会議を開催

令和4年5月16日(月)に、「第49回北九州市PCB処理監視会議」を開催しました。監視会議委員13名のほか、JESCO、環境省、北九州市の北九州PCB処理事業に携わる関係者が参加し、傍聴はWeb上で行いました。

また、会議当日の午前中には、北九州PCB処理事業所の操業再開に向けた「安全点検」の状況を確認するため、監視会議委員による立ち入りを行いました。



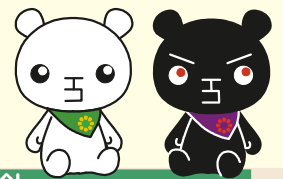
監視会議の様子



立ち入りの様子

1. PCB廃棄物処理に関する国からの要請受け入れについて

- 本市で行われているPCB廃棄物の処理は、令和3年度末に完了する計画でしたが、達成が困難な状況となったため、昨年9月、国(環境省)から本市に対し、新たな期限を令和5年度末に設定することについて検討要請がありました。
- 市民や議会から寄せられた様々な意見や想いを真摯に受け止め、「処理の安全性確保」、「期間内での確実な処理」や「地域の理解」の観点から、全30項目の受入条件として取りまとめ、令和4年4月25日、市長から環境大臣に直接提示しました。
- 環境大臣から「全ての条件を承諾し、国が責任を持って確実に対応する」と回答がありました。本市は、こうした国の決意を受けて、要請を受け入れることとしました。



■ 北九州市の主な受入条件と環境省の対応方針

	北九州市の受入条件	環境省の対応方針
①処理の 安全性確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 国による立入検査を、本市同様に毎月実施するなど、監視指導の強化を図ること。 ● 安全な輸送路を維持・確保するため、財政措置も含め必要な措置を確実に講ずること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省としてJESCOへの立入検査を毎月実施する等により安全対策が実効性のあるものとなるようJESCOへの指導・監督を行う。 ● 輸送路や自然災害対策等、その他の安全性確保についても、これまでの操業で培った知見等を踏まえ、着実に実施する。
②期限内での 確実な処理	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度末までの期間内で一日でも早く完了させるため、関係者が総力を挙げて取り組むとともに、定期的な進捗管理を行って担保すること。 ● 令和6年度以降の北九州事業所の操業は行わないこと(令和5年度末までに北九州事業所の操業を終了すること)。 ● 万一の不測事態に備え、令和6年度以降の北九州事業所以外での対策をあらかじめ検討しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係自治体とも連携して、JESCOへの処分委託状況等の進捗管理を定期的実施することにより、令和5年度末までに確実に処理を完了させ、再々延長は行わない。 ● PCB処理事業を着実に進めるべく、令和6年度以降の対策を含め、今後の処理体制の整備についてしっかりと検討を進める。
③地域の理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 若松区を中心とした地域振興策について、財政措置も含め必要な支援を行うこと。 ● 事業終了後の建物や跡地の有効活用を通じた地域の活性化・雇用維持などの経済振興に向けた本市の取組みを支援すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北九州市とよく相談しながら、若松区などにおける地域振興策の着実な支援や、跡地の有効利用の検討を進める。

2. 北九州PCB処理施設の操業再開に向けて

北九州PCB処理施設は、令和4年3月末でいったん操業を停止し、操業の再開に向け、専門業者による全面的な安全点検や補修等を行いました。

1 安全点検の実施

- 点検項目及び更新・補修等項目の主な内容は下記のとおりです。
- 安全点検の実施期間中は、JESCO、運転会社、工事会社による安全パトロールを毎日行い、順守事項や禁止事項等が守られているか確認しました。

点検項目

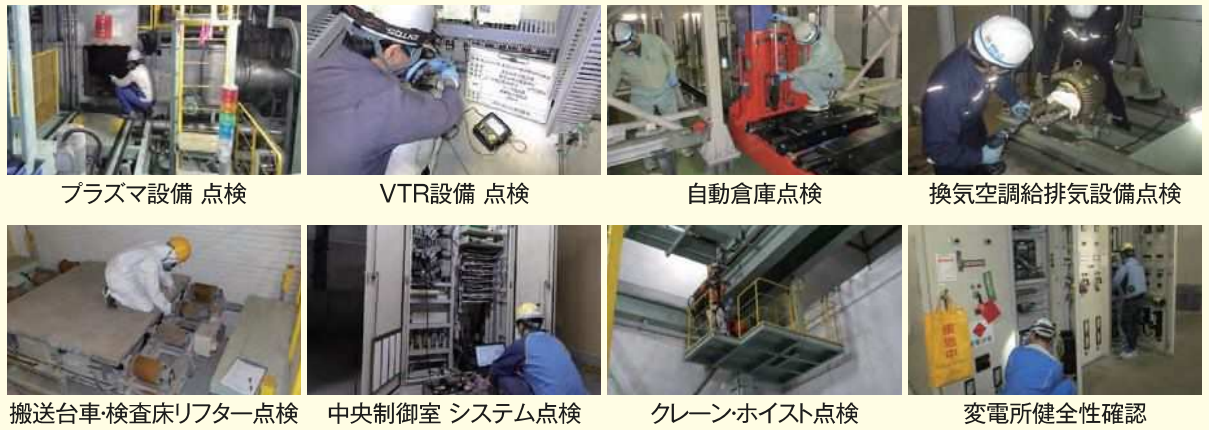
■ プラズマ設備

- 3月・5月の定期点検に加えて、4月に追加点検の実施
- プラズマ炉の耐火材補修の実施

■ 真空加熱分離VTR設備

- 毎年秋に実施している定期点検に加えて、4月に追加点検の実施
- 配管やフランジ等の漏洩点検の実施

■ 安全点検実施状況



プラズマ設備 点検

VTR設備 点検

自動倉庫点検

換気空調給排気設備点検

搬送台車・検査床リフター点検

中央制御室 システム点検

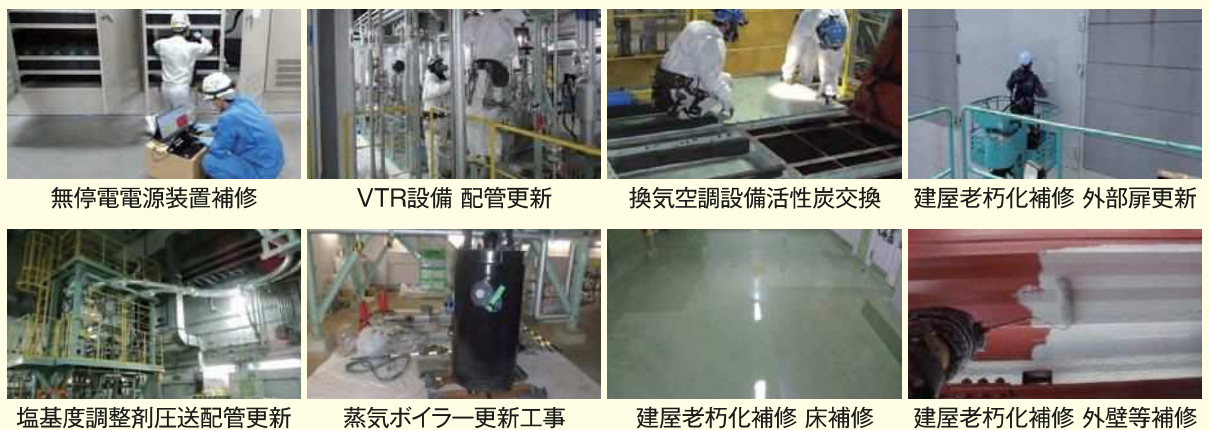
クレーン・ホイスト点検

変電所健全性確認

更新・補修等項目

- 老朽化・経年劣化をしている設備の更新及び交換
- 場内のPCB排気を処理する排気設備の活性炭の前倒し交換
- 建屋の補修

■ 更新・補修等実施状況



無停電電源装置補修

VTR設備 配管更新

換気空調設備活性炭交換

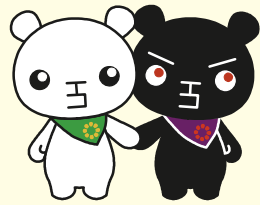
建屋老朽化補修 外部扉更新

塩基度調整剤圧送配管更新

蒸気ボイラー更新工事

建屋老朽化補修 床補修

建屋老朽化補修 外壁等補修



2 点検状況の確認

- 監視会議委員により、安全点検の実施状況について、立ち入りを行い確認しました。
- 監視会議委員からは、「安全点検を行っている現場を確認したが、作業はしっかりと行われていた。」「現場の整理・整頓・清掃が行き渡っていた。」「安全の視点を持ち、最新の注意を払って再稼働を行い、稼働後は『慣れ』に十分注意すること。」などの意見がありました。
- また、国・市による立入検査を合計17回行い、主要設備である「プラズマ炉」や「VTR装置」をはじめ、排気設備の活性炭や配管の継ぎ目部分など細部にわたる点検の結果などを確かめ、施設の安全性を確認しました。

3 点検の結果

- 点検の結果、「設備の不具合や、安全上の問題となる箇所はない」ことを確認し、令和4年5月29日に、操業再開に必要な設備の更新や補修等の作業が完了しました。

令和4年5月30日に、国・市において、合同で最終的な立入検査を行い、安全性をしっかりと確認したことから、6月1日より操業再開を認めました。

今後とも本市は、PCB廃棄物の安全かつ期限内での確実な処理完了や、市民の安全・安心の確保に最善を尽くしてまいります。



発行元

PCB News vol.48

環境局環境監視部環境監視課

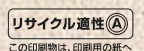
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL: 093-582-2175 FAX: 093-582-2196

メールアドレス: kan-kanshi@city.kitakyushu.lg.jp

※ PCB処理の進捗など、地域の集會等に市の職員が出向いて、説明を行います。

※ ご希望の方やPCB処理だよりについて感想やご意見がございましたら、上記までご連絡ください。

※ この事業について、詳しくは専用ホームページ(<http://www.waste-info.jp/pcb/>)で!!



令和4年6月 No.2213008F